夕刊 磐城新聞

六月二十九日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢(郵稅拾五錢)
廣告料金 普通欄 金六拾錢 特報欄 金九拾錢 (五號十二字詰一行)(場所指定一行一回增)
編輯印刷兼發行人 鈴木 仿
發行所 福島縣石城郡平町十六番地 磐城新聞合資會社
登錄交付電略(タイラ イワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番

(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇八五五六番

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩は南東の風小雨

明日は南西の風曇

曉に思ひ浮べる (4)

赤井嶽男

水虎考略によると肥前國佐賀郡の三溝と云ふ地では、河童が繋ぎ馬を引き入れやうとした時、馬が驚き跳ねた爲め、河童は皿の水を覆されて力弱りその爲め馬に引きづけられて厩に引かれて行つた時其の後を洗濯をして居つた其家の母は大に怒つて皿の水を河童に打ち掛けた處、その水少しく皿の中に入り、それに再び力を得、河童は爲の手綱を切つて逃し去たと云ふ事が見ねて居る河童が水に力を得る事、恰も普段の默り屋が一盃ひつかけると俄然卓勵風發別人の如くなつて了ふそれの如くである

〇

他の傳說では片手を失ひ妙藥の金創談を展開し來り若き詫狀の段取りともなり貢物の鯉ともなるのであるが、河童魚類を貢物とすると云ふ傳說は『北二侯』に獨魚を祭つて北侯に獻すと云ふ傳說に傳統を引くものであるらしく河童を祀つてその害を避くると云ふも魚族を新、風習の混交した時代をもつた樣である。

閑話休題。一昨夜來の雨は昨朝の如、坪當り僅かに一ミリ(一升八合三勺)に過ぎなかつたが□□のそれは農試分場の觀測によると二一・二ミリ、この枡量三斗八升七合九六とあるが。河童のてつぺんにある蓋附き皿のタンクには彼によつて絶對唯一の藥力たるガソリンが果してどの位溜つた事か

〇

オナラは『腸胃中の瓦斯の肛門より洩るるもの』と字引に出てゐます。立派な生理現象で『人としてヒラずんば獸だに及ざるべけんやであります』。昔安永の頃兩國橋の邊りに、オナラの音樂家が現れたと、風來山人の放屁論に詳しく出てゐます。其プログラムには、梯子ツペやエレベーター屁などは言ふも更なり三番叟を欺き、水車の音は淀川に擬す等々の他十種目もある賑やかさであります この音樂家の肛門は恐らく我々が口笛を吹く樣に空氣を出し入れすることの出來る優秀なる肛門であつたと想像されます

これは逡い近頃東京の大新聞に載つて居つた或る商品の廣告であるが、前號の『河童のへ』から聯想して敢てお引合ひに出したわけであるべく、また以てへ文學の出色と見て良からう

磐城歌壇

新妻久滿夫選

『雜詠七首』 双葉郡木戸村 新妻和夫

〇いたつきて術なかりけり朝濕る庭の小草をしまし拔き居り

〇竹籔を漏るる西陽の光つかれ早稲きに今日も暮れんとす

〇入梅に入りて家裡寒けかり獄の肌の冷えてひけ難きかも

〇梅雨に入る暖さ寒さに堪えも得ぬ肌のおのゝきかなしみて寢る

〇歌書を讀み歌作りつゝつかるれば卽ち眠る術なかりせば

〇人みなになづまぬ心今日もかも一人しみ〳〵夕飯食しぬ

小評 作り馴れた歌である。病を得てゐる作者の歌として、もつともせん細に感情が作用しなければならぬところがある。惜しいことにはさし迫つたところがあまり見うけられないことと、卿子の上の弱さとである。これを何とか考へ直せば立派な歌が生れることであらうと今一歩のところである。

日暮れの散步

田中まさる

卯の花 咲いた
並木道
白い空氣が通つてく
僕は 口笛吹いてく
マルも散步に
駈けて來る
蒼い スロープ
丘の上
別莊村の旗がある
あゝ 日暮の
白い蝶
お空に消えくぼやけてく
(註マルは仔犬のこと)

6月30日

△名和長年京都に戰死(延元元)△江戸幕府大名の參覲交代制を定む(寛永一二)△土佐の中濱萬次郎、十三年目にアメリカより歸る(嘉永五)

賀福尾君當選 町會議員 (その一)

珠雲 小野務平

積德多年名姓振
果然衆得一旗新
淸貞操志超高識
淨化增場有此人

個展を前に (下)

島田忠夫

三屏風は、貼交せ小屏風が五點ほど出來た。この中一は、松村先生の歌を貼り交せたのがあつて、表裝中にもう寶口が決まつて了つた細の方は、山口蓬春畫伯、鵜田豊四郎畫伯が目を通して下されたので、大体よいもの許り竝べることが出來よう

□

新聞社方面、美術雜誌方面、それ〳〵友人が居つて宣傳して呉れたり、紹介して呉れたりしてゐる。こんどの個展で美術界方面へもかなり進出することにならうと思ふ

□

作品の一部を、平市へも送り度い希望がある。好い作品を十點位選んで、どこかで陳列したい。尤も、既に大阪でこの秋には個展をやる計畫があり、秋田へは今夏八月行かうと思つてゐるので、果して平でやれるかどうかは疑問だ

□

終りに平で、話のこんど◎個展の爲め御後援下さつた、高久晩霞先生、高崎松三氏、赤羽松堂先生に厚く御禮を申上げます (六、二五記)

○島田忠夫氏 (個人展覽會)
七月十三日、十四日
於 東京銀座西六ノ五 ギャラリー、日本サロン

講談 妖刀流轉 (えうとうるてん)

(126) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

怪しき六部 (六)

盲目の新七が差出した右手を、ぐつと掴んだ六部の覺道、先きへ立つて早足に木の根岩角の凸凹した山道を、グン〳〵と引摺るように昇つて行くのだから、新七の困難は一通りではない足を止めて休む事も、腰を伸ばして息を吐く事も出來ない、全身に熱湯の汗を流し、胸の動悸は早鐘大浪、セイ〳〵ハア〳〵必死になりまして片手に杖を突つ張りつゝ、よろばいよろばい這ひ上るその苦しさ、半ば夢中になるばかり。

覺道の方は委細構はず、恐ろしい勢で勾配の急な坂を、スタスタと登つて行く具合は、人間業とは思はれぬ程だ。

小休みもせず一刻餘り、山又山へ分けはいつた所、覺道始めて氣がついた樣子

覺『オウ、見れば餘程お疲れの御樣子、モウ此處まで參れば後は僅で御座る、此邊で一休みなされたがよろしい』

言はれた時は新七が、ヤレ嬉しやと思つたが何分全身へトく になつて、俄には聲さへも出ない程だ、グツタリと崩れるが如く、傍への岩角へ身を投かけ、大息ついて喘いで居ります。

覺『ハヽヽヽ、イヤ山道にはお馴れにならぬな、そうと知つたらモウ少し悠つくりと參ればよかつた、先づ〳〵暫らく休息なさるがよい、お目が御不自由では是非もないが景色の最も見晴しのよい場所で、峰より峰の山續き、木々の梢は紅葉の錦、白雲の去來谷河の流れ、繪にも描き度い風景を、貴殿にも一目お見せ申し度いのう、オウ〳〵汗が流れる〳〵、定めしお苦しからう、マア悠くりとお休みなされ、そう〳〵此暇に拙者は一寸一走り飛雲送人に許へ行つて參らう、モウこれからは程もないところあらかじめ貴殿の事をよく賴んだ上、引返して御同伴いたす、暫らく此處にてお待ち下さい』

云はれて新七は漸々に口を開き

新『御迷惑をかけた上御配慮に預かつて恐れ入ります何分よろしくお願ひ申す』

六『必ずお心使ひは御無用ぢや、一寸行つて參るから!』

云ふかと思ふとその儘にスタスタと立去つた樣子新七は只た一人山間の岩の上へ取殘され、心細くはあるが何分疲れが甚だしいので大息つきつゝ流るゝ汗を拭つてゐる

耳に聞ゆるものとては嵐々たる松の風、岩に激する谷川の音ばかり

此方は十內で新七の身を案じ、見え隱れについては來たが如何にも六部の足が速いので不覺にも見失ひサア困つたと上つて來る山の半腹、見ると道が二俣に分岐れてゐる、十內は途方に暮れ、何方へ行つたものかと迷つたが、誰にも聞かうといふ便りもない、思ひついて腰にさした木刀を帶からぬいで道の中央へ立て手を離すと右の方へ倒れた、これを見德にして右手の道を大急ぎで昇つて行つたが行けども〳〵兩人の姿が見えない。十內は心も心ならず、思はず

十『若旦那樣ア新七樣ア』

と怒鳴つたが、木魂が氣味わるく響くばかり

宿の尾花屋ではおちかが番頭やおこよを對手に疲れを休めて居る所へ宿の女中が參りまして

女『お客樣伺ひますが、おちか樣と仰しやりますのは何誰樣で御座いますか』

ち『ハイ、ちかと申すは私のこと』

女『アヽ左樣で居らつしやいますか、只今忽龍夫さんが二人、お使ひに見えました』

廣告

おでん 一平(イッパイ)
電話二六三番

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
〔血液檢査每日〕
イツデモ入院デキマス。
平市新川町二七〔電四六四〕
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次

公債、株式、賣買
一般證券業務
平市三町目 電話一七七番
友部株式店
營業所 水戶市泉町二丁目 電話二四〇・六〇一番
助川町天王町 電話六九番
大子町榮町 電話二九番

持株の御相談に應じます。

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戶線下館驛前 (電話五五・三三九番)
茨城縣土浦町田宿 (電話六五三・八二四)
支店所在地
常磐線關本驛前 (電話中潟五四)
常磐線四倉驛前 (電話四八)
久慈濱支店 (電話二三七番)
小名濱支店
海上給油(大津・平潟
及油槽所(江名濱
營業種目
石油、揮發油、モビール油、重油、マシン油、機械油類、植物油、胡麻油、種油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

產科婦人科專門
根本醫院
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(手術室完備)
(入院隨時)

夜間診療
胃腸 痔病
內科 胃腸病科
花柳病科 痔病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平市南町電一〇一七番)
(見習看護婦募集)

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田杉・杉四分板 建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下
電話六七四
神經痛ニオレンヂ
リウマチスニパスタ

男女學生夏服
高島屋の洋服
新柄背廣
レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

夏の紳士向服地
地風・色合・柄行等見るからに感じの良い近代的明朗さ
夏の紳士向服地として瀟洒…………
大崎屋洋服店
平市銀座 電96

時代の要求皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行日直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平市二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

カメラ材料
藥品百貨
平電話3番
西村屋藥局

獵友出揃ふ

二百圓を氣遣ふ場合
優退期限は愈よ明日
十數票で充分該當絶無か

平市の自治史上華やかな一頁を添ふる第一次と云ふ處から一段と出馬慾を唆つた平市會議員選擧は最初定數三十名に對する一倍半の四十數名程度に豫想されたが事實は遙かに之を超過し、昨二十八日の現在で實に五十一名の多數に上り、更に一、二名の新顔が現れる形勢に在るので結局五十二名は下るまいと觀らるゝに至つた。而して立候補の屆出では市制第二十二條二の規定により選擧の期日前七日目たる來月三日が期間であるが大てい今明日位に全部が出揃ふものと觀られ、尙は選擧の期日前十日以内に於て候補者たる事を辭したる時は最に供託した二百圓は

議員の定數を以て有効投票の總數を除して得たる數の十分の一に達せさる時

と同樣當人に還付されず其儘市に歸屬する事となるが、其の最低數は昨年九月十五日現在の舊平四千四百八十八名、舊平窪の六百三十五名合計五千百二十三名中其後の死亡轉出を除くも大体之を基準として棄權一割を概算した四千六百を定員の三十人で除した約百五十三票の一割即ち十五、六票で濟むので、その當選こそ初最から客觀的に可能性を欠いて居る一部の候補者にせよ少くとも大なる確信の下に出馬した程の各候補者に在つては供託物を沒收さるゝが如き悲慘な結果を見るは蓋し絶無と觀察されてゐる

取締陣愈よ緊張
立候補實に五十一名

きのふ午後から中鹽の矢吹初彌氏が立候補屆をしたので丁度五十一名に上り二十一名が篩ひおとされるんだから物凄い、尙話題に上つてゐるもの一、二名あり塞前の逐鹿戰が展開されるので取締陣も蕭正陣も愈よ緊張味を帶びて來た

立候補屆
△中鹽農矢吹初彌(六四)

これはスマート
吏員の制服 調製
小名濱町の新試み

躍進商港都市として市制五ヶ年計劃を進めてゐる小名濱町では『市制實施は先づ服裝の統一から……』と小野町長發案による制服を來月一日から着用することゝなつた
夏は黒セルの背廣に白ズボン、冬は同樣黒背廣に縞ズボンと云ふ至極スマートなもの、吏員二十名はみんな朗かである

良き程のお濕りに
地方農家歡ぶ
水不足完全に救はる

坪當り僅か一ミリのお濕りに『待望の雨ぞ之れ丈けか』と水不足に喘ぐ地方農家を落膽させたが八日ぶりの雨は、昨二十八日の宵から本格となつて今朝十時迄の雨量が平市附近で二一・二ミリ(三斗八升七合九六)た陸で水氣は完全に地下迄滲透し萬頃の耕地頓に生色を呈した、此の慈雨の農作物に寄與した好影響に就て神谷農試分場では語る
大事な挿秧時季の水飢饉で植ゑつけの出來なかつた處では之によつて植ゑつけが出來、又植ゑつけ後灌漑に困つてゐた處もシンが止まり、此儘だと枯死するばかりになつて居たのが持ち直す事が出來たので勿論平年の作柄を見る事は出來ず若干の減收は免れないが危い處で助かつたのは何よりである。云々

雨よもつと降れ
蔬菜類は助つたが……
各地で雨乞ひ

悲痛な旱魃の叫びに朝々の新聞面には暗い影がさしてゐた、それ程强い雨ではなかつたがゆふべ一と晩降り續けたお蔭で蔬菜類はだいぶ潤ふたものゝ砂埃立つ水田はまだどうして／＼。旱害の最も甚しい小名濱、玉川方面では目下盛んにモーターなどで揚水に努めて居るがその設備のない處ではいち／＼バケツで汲み込んでゐる始末であり、平窪の或る處では消防の自動車ポンプを呼んでヤッと揚水したとか、神谷村上神谷ではきのふミノ笠を着込んだ白姓さんが鎭守の前に集り鉦、太鼓を鳴らしながら『雨よもつと降れ』の祈願をこめたと云ふ

報告祭を執行した

日米對抗豫選の
入山選手決る
目指す晴の檜舞台

旣報—來月四日茨城縣助川日立グラウンドで擧行する關東北選手權大會茨城豫選並に日米對抗の豫選大會に選手を送る常磐炭礦陸上競技部では目下必勝を期して練習を續けてゐるが晴の檜舞台を目指して出場する入山の選手は左の如く決定した

砲丸 圓盤投—青野 走
巾 棒高—森山 千五百
五千米—平間 八百米—
佐々木 遠藤 千五百米

小學兒童体育大會
來月廿四日磐中で

郡第三區平方部小學兒童の體育大會は來月二十四日から磐中グラウンドで擧行することゝなつた
出場校は市内四小學校を始め飯野、内郷高坂、同第一、第二、第三、赤井第一、第二、好間第一、第二、小川、川前、桶賣の十六校、この數約五百名である

各係對抗競技
來月十一日開催

毎年從業員の血を沸かしてゐる入山の各係對抗陸上競技大會は來月十一日午前九時から同礦新設グラウンドで催すこととなつたが當日は例によつて各係思ひ／＼の趣向を凝らした應援團の結成に盛況を豫想されてゐる

在滿兵に 慰問品
神谷國婦會で

神谷國防婦人會では在滿兵慰問を目的に過般來會員中より醵金してゐたが八十餘圓を纏めたので此程これを慰問品にして發送した

小名初町會

小名濱町の初町會を二十八日午後一時から開き新議員二十四名の議席を定め區長、同代理、商港擴張計劃委員を選任、郷社諏訪神社で議員の

傳染病豫防 蠅取競技

市内長橋町いはき新報社高木喬氏の計劃第五回傳染病豫防蠅取競技大會は各團体後援のもとに來月二十日より三日間開催する、因に八年度第一回よりの成績左の如し
昭和八年度參加人員一千四百三十八入捕獲數四十六萬八千七百二十匹、九年度同一千五百六十三人捕獲數三十五萬四千二百七十六匹、十年度同一千七百五十八人捕獲數七十五萬六千二百六十六匹、十一年度同二千三百三十人捕獲數二十七萬四千百三十四匹

四小學校 授業短縮

市内四小學校では來月十二日から三十日迄午前七時三十分始業短縮授業を實施することに二十八日午後の打合會で決定

違反で五十圓。。。。 内郷村内町馬目泰豊(三九)は八日執行の同村全議員改選に際し當選した鈴木彥彌氏の事務長をしてゐるうち戸別訪問をなした廉で平區から罰金五十圓

賭博にお灸。。。。 植田町上河原古物商田中孝次郎(四二)同鈴木太一(三八)江名町中の作土工石田仙吉(三二)の三名は賭博罪で平區から略式罰金二十圓宛

平商体重測定。。。。 平商は二十九日から五日間全校生の体重測定

海の話題

餌を與へて一萬尾!
鹽屋岬沖合の磐城丸から
續々入る豐漁無電

本縣指導船磐城丸は二十三日小名濱を出港、目下鹽屋岬東方三百九十五浬の沖合で第五航海目の鰹漁の搜査に當つてゐるが二十八日『鰹三千尾釣獲』の無電が水產試驗場本場に入つた、同船四航海目迄の漁獲高は早や一萬圓を突破し同場開設以來の快記録を作つて居るので五十嵐場長以下大喜びだ
尙同船は第三航海目の際本縣遠洋漁船を集め餌の欠乏で困つてゐた江名町諏訪丸を救ひメバチ、マグロ約一萬尾を漁獲せしめた等指導船としての面目を施したので評判が高い

神谷初村會

神谷村の初村會は二十九日午後一時から開き左記諸件を附議
衛生豫防委員 出納檢査立會人 公有林委員選任

職業指導幹事會。。。。 郡下職業指導研究會幹事會を來月十二日平第一校講堂に開く

四犯男起訴
兩縣下を荒す

ルンペン前科四犯遠藤勝己(三二)は二十九日窃盜罪で起訴された
同人は去る五月一日から六月二十日迄前後八回に亘り宮城、福島兩縣下を荒し廻り去る二十日錦村中田田邊ユウ方から現金四十五圓を盜んで植田署に擧げられたもの

控訴。。 旣報—双葉郡久之濱町東町海產物商町議木村善五郎(五〇)は選擧違反で懲役二ケ月を言渡されたが二十九日不服で控訴

川部村議當選者

川部村の村會議員當選者左の如し
田子嘉吉 芳賀蔑虎 安島龜吉 鈴木長治 小野竹與 蛭田章藏 園部茂 伊藤武一郎 中山吉之助 蛭田利綜治 鈴木榮 芳賀彌次

午後一時よりは聯合會となり十一年度決算を中心とし將來行くべき指針を協議した

馬の値がよいぞ!
川前、上小川のセリに
買人早くも期待

川前村桶賣の二才駒セリ賣りは愈よ來月三日から六日迄の四日間行はれるが出頭豫定百五十頭、本郡殿りの上小川市場は同七日から九日迄三日間に亘つて行はれるが出頭は大体五十頭と見られてゐる、はや行はれた三市場の値から見て昨年より五、六圓位の高値を見るであらうと云はれ各方面の買人は早くも期待してゐる

水產加工組合總會
昨日小名信組で

四町四ヶ村に及ぶ信用組合を母体として生れた水產加工組合では昨二十八日小名濱信用組合樓上に於て總會を開催、午前中は役員會、

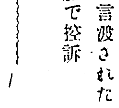
紅燈哀話

母親の墓前に額づき
死の一歩前で救はる
涙で綴る川岸フミさんの半生

抱主の酷使に堪へかねて逃げ出し、死を决意した年若い藝妓が平署の計ひで蘇つた——近頃珍らしい『紅燈哀話』一篇

昨夕七時頃松ケ岡附近を折からのそば雨に濡れながらブラ／＼してゐる年若い女に不審を抱いた平署員が事情をきくと、この女には次のやうな『哀話』がひそんでゐた——
相馬郡小高町生れ當時東京市下谷區龍泉寺町八百屋商川岸隆藏長女フミ(二七)さんと云ひ、七ツの時兩親と共に内郷村宮に轉住し父親の隆藏さんは同村高坂發電所の職工となつて細々ながら暮してゐた、フミさんは同村小學校を卒業すると間もなく母親に死別して繼母早坂ステさんに育てられたが一家の貧しさから十三の時富山縣中新川郡東水橋新町藝妓置屋陽加樓こと小島芳次郎方へ藝妓見習として賣り飛ばされ、十五の時東京市本郷區駒込新彌町藝妓置鈴木フミ方から『桃太郎』と名乘つて左褄をとりはじめ以來各地を轉々として今年一月東京本所區須崎町七七藝妓置屋柴田シツ方に前借五百圓で鞍替わした處かここは藝妓と云ふのは表看板だけで毎日客取りを强ひられた上虐待されるので堪りかね遂に二十七日深更同家を脱け出し上野驛から列車に乗り込んで平に來り内郷村内町清光院で亡母の墓詣りを濟ませた上自殺を決意し、買ひ求めた刄渡七寸餘の短刀を懐ろにしのばせながら死場所を求めてゐたものと判明
事情をきいた猪狩警部はこれに同情して南町周旋業長谷川辰之助氏のもとにやり適當な仕込み口の斡旋に骨を折つてゐるが同女も『しつかりした家ならどんな處でも働きます……』と同署の斡旋に感泣してゐると云ふ

三十日 (小名濱測候所發表)
滿潮 前七、三五 後八、五〇
干潮 前二、〇五 後二、〇五



新曆 六月三十日 水曜
舊曆 五月二十二日
戊子 友引 破 箕宿

諸判定總部 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館
▲一白 幸運の日萬事進展を來たすべく開店起工吉▲二黒 物事滯りても氣を落さず實直なれば好轉す▲三碧 動けば災あり靜かなれば平安を保つべき日▲四綠 氣運平順なれど勞に乘れば前途に懸りあり▲五黄 悅樂高ずれば悲あいを生ず又多辯を戒むべし▲六白 深淵にひそめる龍の如し時を得れば昇天せん▲七赤 懸引の自由を失ひ難局を打開する事能はず▲八白 希望を貫かんとするも寸進尺退の傾向あり▲九紫 鋭刀は切れ味凄けれど折れ易し病難亦注意

業務擴張廣告
謹啓 初夏の候に候處各位益々御清祥の段奉賀上候
陳者弊店儀御當地に開業日尙は淺きにも不拘日に隆昌に趣き居候は之れ各位の甚大なる御聲援の賜と奉深謝候
扨て今回斯界の王者たる東京市本所區東兩國一丁目 製鐵業 銅鐵問屋『岡田菊次郎商店』の特別なる御後援により一層御得意各位に對し御期待に添ふべく努力可仕候間何卒御拂下、御買上共に御下命の程賜はり度御願申上候
敬白
銅鐵 機械
海軍工廠御用達
KS 井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一
電話五二二番

平病院
平市警察署側(元磐城共濟病院跡) (電六四一番)
院主院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長醫學士 木下基一
産婦人科 一般外科 皮膚泌尿器科 部長醫學士 池谷宗三郎
レントゲン科 物理的療法科 部長醫學博士 鈴木定藏 技師 岡田重德
藥劑科 藥劑部長 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄(夜間診療ニ從事ス)
往診隨時
病室完備……入院隨時(急患ハ此ノ限リニアラズ)【自炊ノ便アリ】
入院料 一日 特等—貳圓 一等—壹圓五拾錢 二等—壹圓參拾錢

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時
院長醫學士 金森五郎

平市田町 (電話五三一番)
高久病院
内科 外科 耳鼻咽喉科 レントゲン科 小兒科 花柳病科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄